

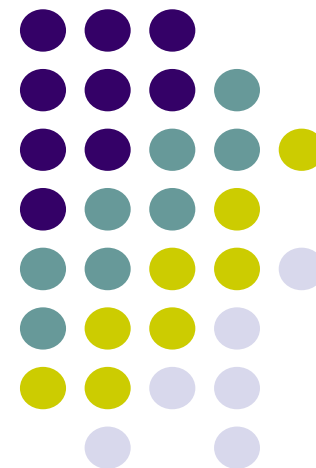
銀行の中小企業向け貸出のフロンティアを探る

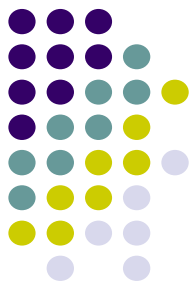
～ ミドルリスク市場の把握と貸出拡充の銀行収益への貢献度 ～

2005年9月21日

東洋大学 経済学部

益田 安良





1. 問題意識（背景と分析の狙い）

邦銀の与信先拡充の対象としてミドルリスク市場が注目されている

邦銀の収益機会、中小企業向け貸出増強の政策的要請、金融緩和効果の浸透

<ミドルリスク市場：潜在的に銀行等が与信可能だが、これまで与信対象としてこなかった企業群（想定貸出金利5～15%？）>

ミドル市場は存在するか？（銀行が既に5%以下の金利で採りこんでいる可能性）

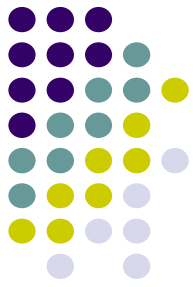
【分析】

取引金融機関別の中小企業の類型化とその財務状況、借入れ金利の把握
ミドルリスク市場規模の類推
銀行等の貸出市場拡大可能領域の把握（貸出市場規模の試算）
銀行等の貸出金利適正化の効果（銀行収益・企業収益への影響試算）
量的に把握する

<主な利用データ> 中小企業庁『金融環境実態調査(2002年度)』（NBアンケート有り）
日本銀行諸データ、全国銀行協会『財務諸表分析』他

2. 先行研究

原田(2002)、中小企業庁(2003b)(肯定的)、竹内(2004)(否定的)……問題意識のみ、実証なし。
日銀(2003)……CRDによる分析、銀行取引の無い市場の分析なし。



3. 中小企業の取引金融機関別カテゴリー

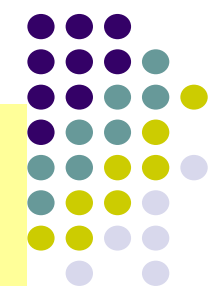
- (1) マクロ統計からみた中小企業の借入れ残高 (日本銀行統計)
- ・ 国内銀行の中小企業貸出…………… 185兆円 (企業向けの65%)
 - ・ 信用金庫の中小企業貸出…………… 41兆円 (含む大企業向け)
 - ・ ノンバンクの中小企業貸出…………… 35兆円 (max、含む大企業向け)
 - ・ 政府系金融機関の中小企業貸出… 38兆円 (max、含む大企業向け)

図表1 金融機関の企業向け貸出市場の全体像

年度末	残高(億円)			構成比(%)		
	1993	2000	2003	1990	2000	2003
国内銀行・法人向け貸出残高 (除く金融・保険業向け)	4,126,453	3,585,059	2,864,299	100.0	100.0	100.0
大企業	1,039,548	1,000,906	842,772	25.2	27.9	29.4
うち製造業向け	254,699	236,946	195,889	6.2	6.6	6.8
中堅企業	484,397	250,395	173,010	11.7	7.0	6.0
うち製造業向け	60,934	26,869	18,513	1.5	0.7	0.6
中小企業	2,602,505	2,333,751	1,848,510	63.1	65.1	64.5
製造業向け	452,875	412,797	309,246	11.0	11.5	10.8
非製造業向け	2,149,629	1,920,953	1,539,264	52.1	53.6	53.7
信用金庫・企業向け貸出残高 (除く金融・保険業向け)	492,605*	459,337	405,783			
製造業向け	487,870	455,382	400,033			
非製造業向け	117,567	102,545	82,043			
ノンバンク・企業政府向け貸出残高	1,059,311	307,747	345,694			
ファイナンス会社	1,054,444	275,142	235,458			
特別目的会社・信託	4,867	32,605	110,236			
公的金融機関・非金融法人向け貸出残高	327,765	437,613	379,449			

(注) *は1994年度。

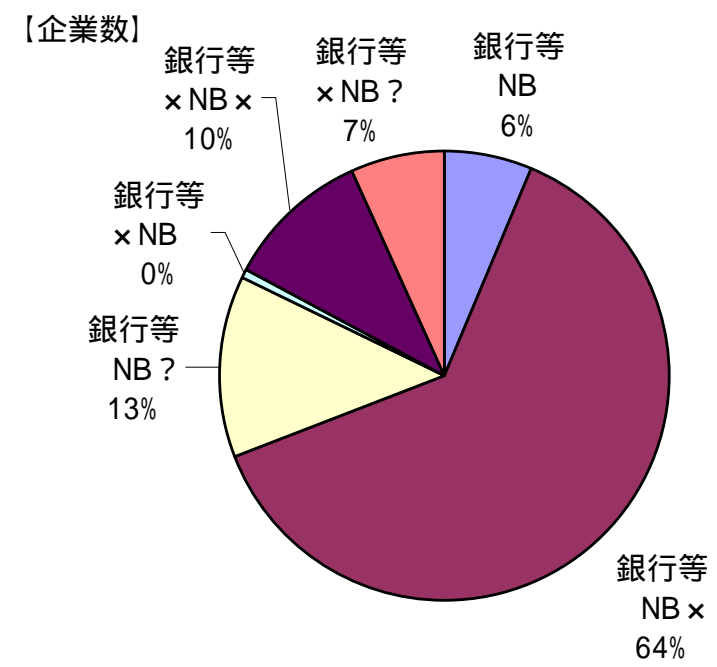
(資料) 日本銀行『貸出先別貸出金』『資金循環勘定』により筆者作成



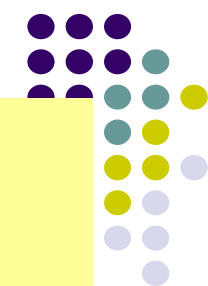
(2) 取引金融機関別カテゴリーの企業数 (中企庁 『金融環境実態調査』)
 (銀行等 = 預金取扱金融機関)
 「銀行等 NB × 」63%、「銀行等 × NB × 」10%、「銀行等 NB 」6%、
 「銀行等 × NB (NBのみ)」は0.5% 明示的なミドル市場は限定的？
 (ただし「NB無回答」を加えると7.3%)

図表2 各カテゴリーの企業数

	企業数	比率
全体	8,446	100.0%
銀行等取引あり	6,951	82.3%
銀行等 NB	539	6.4%
銀行等 NB ×	5,295	62.7%
(銀行等 NB ?)	1,117	13.2%
銀行等取引無し	1,495	17.7%
銀行等 × NB	41	0.5%
銀行等 × NB ×	880	10.4%
(銀行等 × NB ?)	574	6.8%



(注)NB :NBからの借入残高があるか、アンケートにおいて「NB借入実績あり」と回答した企業。
 NB × :NBからの借入残高が無く、アンケートにおいて「NB借入実績なし」と回答した企業。
 NB ? :NBからの借入残高が無く、アンケートにおいて「NB借入実績」無回答の企業。



(3) 各カテゴリーの財務状況と借入れ金利

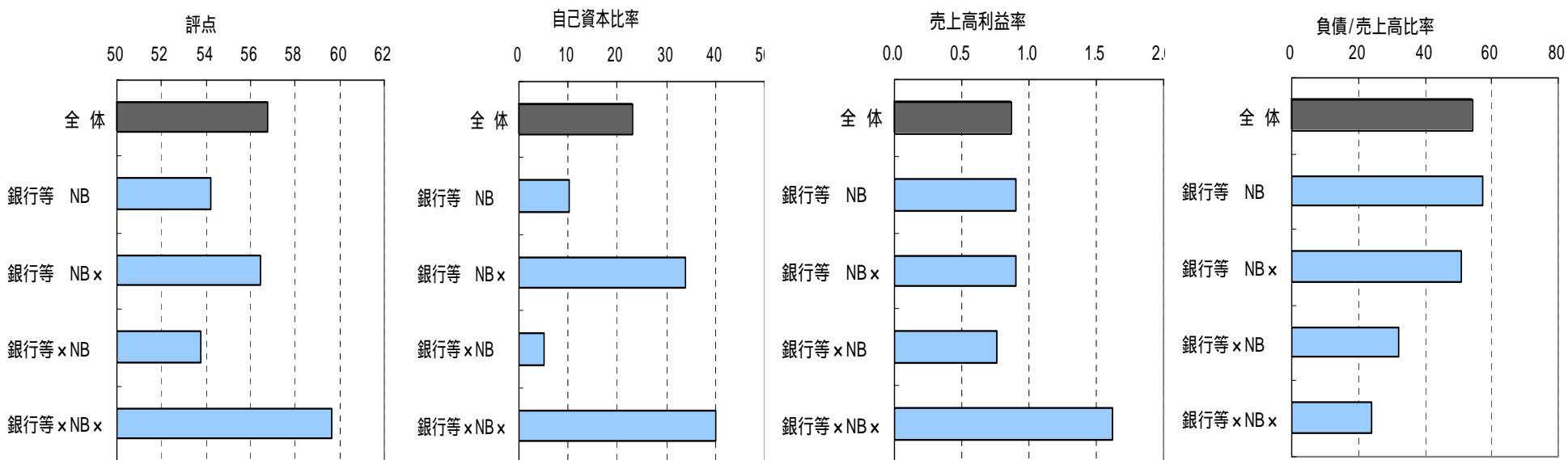
【財務状況】

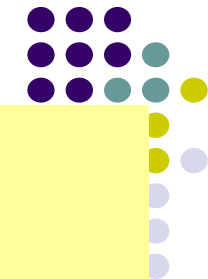
- ・「評点」「自己資本比率」において
銀行等 × NB × > 銀行等 NB × > 銀行等 NB >> 銀行等 × NB
NB取引のある企業が財務劣後

(ただし「売上高利益率」は、銀行等 × NB × を除き同程度)

(「負債比率」は、銀行等の方が高い)

図表3 各カテゴリー別の財務状況





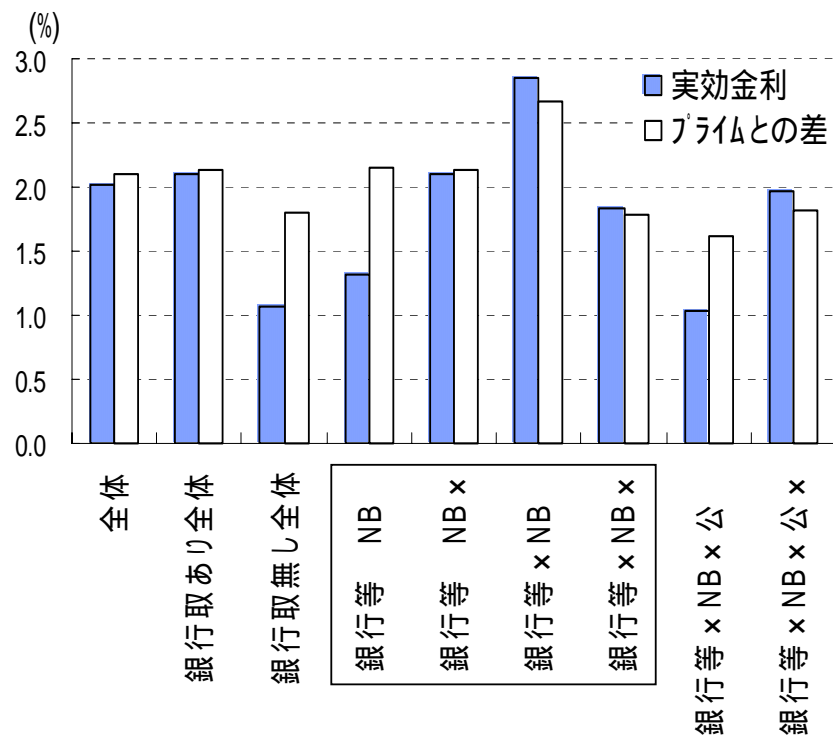
【借入れ金利】

・銀行等 × NB (2.8%) > 銀行等 NB × (2.1%) > 銀行等 NB (1.3%)

差が小さい

財務状況の序列との関係不明確 (例：金利は、銀行等 NB < 銀行等 NB ×)

図表4 各カテゴリーの借入れ金利



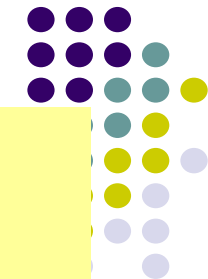
< 本節のまとめ >

典型的なミドルリスク市場は小さい
(企業数で0.5%程度)

NBの取引先は財務状況が劣る
(銀行等取引の有無以上の差)

・銀行等取引 × NB × は財務力が最高

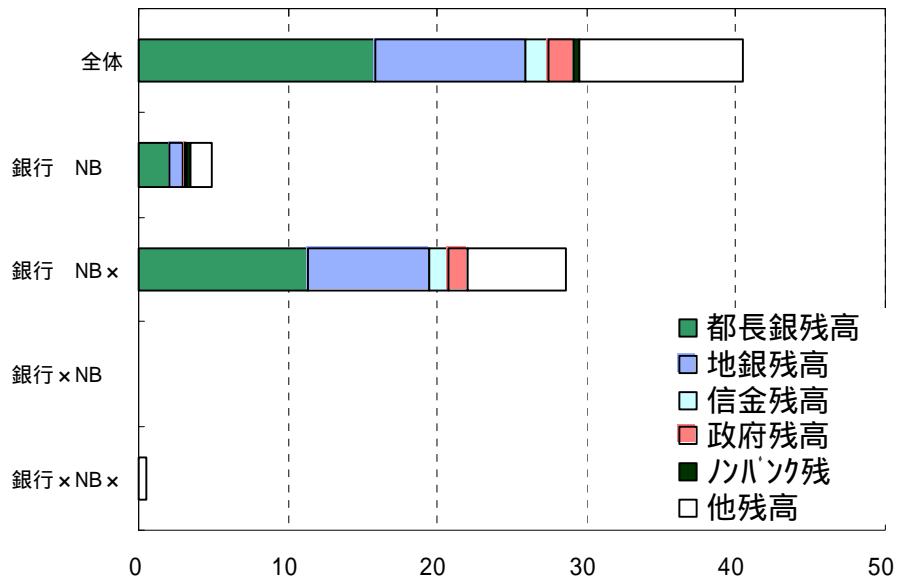
貸出金利は必ずしも財務力を反映せず



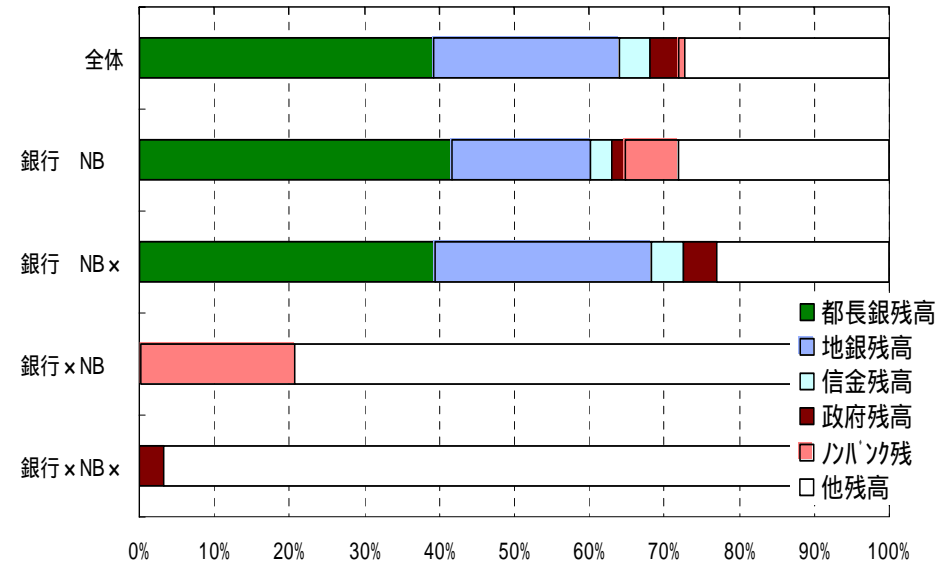
(参考1) 各カテゴリーの借入額
 [全体] 都長銀40%、地銀23%、信金・信組4%、政府系4%、NB1%程度
 [取引機関別] 銀行等取引の無い市場は極めて少ない
 典型的なミドルリスク市場 (NBのみ等) は小さい

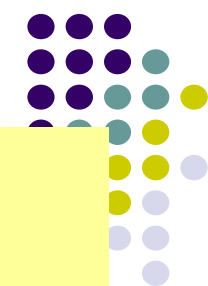
参考図表1 各カテゴリーの借入残高

【 借入れ先別残高(兆円)】



【 借入れ先別残高構成比(%)】





(参考2) 各カテゴリーの企業規模

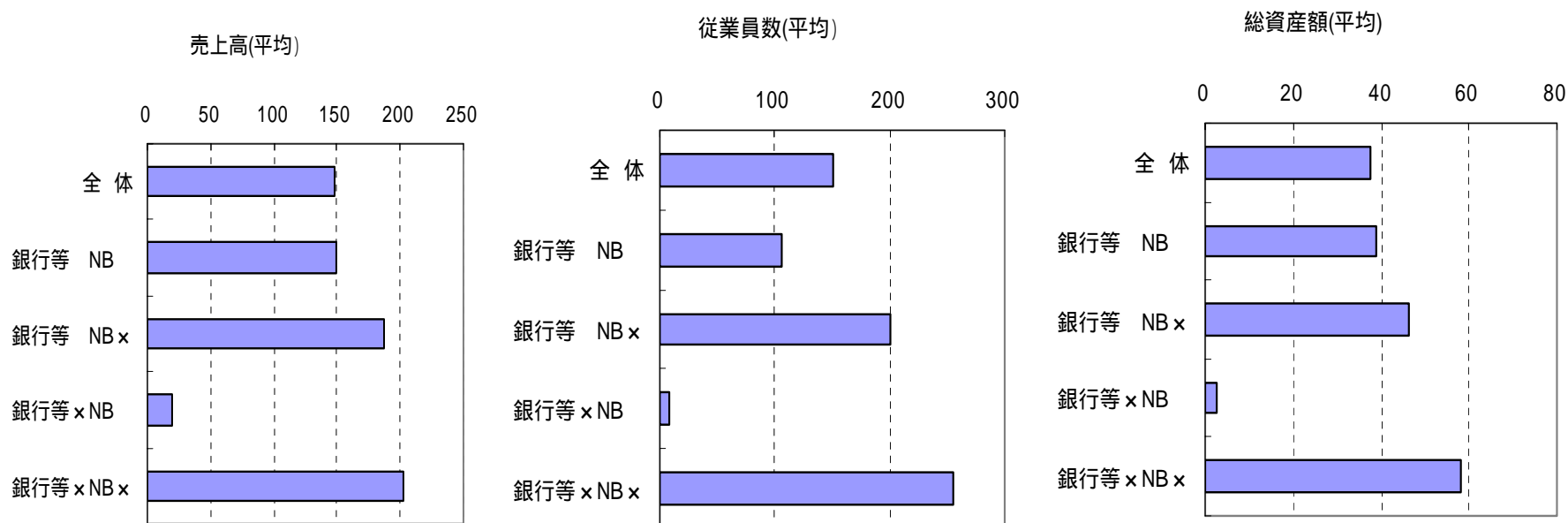
- ・「売上高」「総資産額」「従業員数」のいずれにおいても

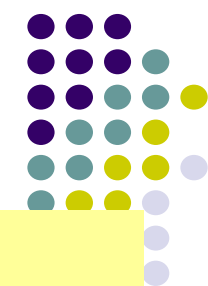
銀行等 × NB × > 銀行等 NB × > 銀行等 NB > 銀行等 × NB

(「銀行等 × NB ×」(無借金企業)には大企業の子会社・関連会社等が含まれる為か?)

「銀行等」は、比較的大規模な企業取引、NB依存は小規模企業

参考図表2 各カテゴリー別の平均企業規模(億円、人)





4. 財務状況別の借入先（2002年中小企業金融実態調査より）

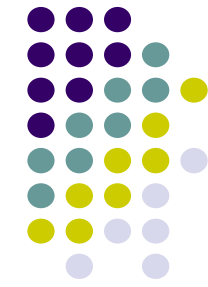
（1）財務状況と借入先別シェアの相関（全体観）

- ・ 評点・自己資本比率・負債不比率： 全国銀行、××信金信組、×NB、政府系??
- 「全国銀行」と「信金・信組」の間に融資先の信用力に棲み分けあり
- 「都長銀」と「地方銀行」の間には棲み分けなし（全国銀行の方が相関大）
- 「NB」「その他」は財務力低下に伴い増加
- 「政府系金融機関」は財務力との関係不明確（売上高利益率は不明確）

図表5 借入先別シェアと財務状態との相関係数 (%)

	銀行等(預金取扱金融機関)				非銀行借入れ				
	全国銀行		信金・信組		政府系 金融機関	ノンバンク	その他		
	都長銀	地方銀行							
評点	0.0307	0.1717	0.1541	0.0165	▲ 0.2006	▲ 0.0307	▲ 0.0029	▲ 0.0136	▲ 0.0340
自己資本比率	0.0657	0.1112	0.0799	0.0289	▲ 0.0774	▲ 0.0657	0.0277	▲ 0.0533	▲ 0.0995
有利子負債 / 売上比率	▲ 0.0632	▲ 0.0747	▲ 0.0329	▲ 0.0386	0.0301	0.0632	▲ 0.0083	0.0388	0.0810
売上高経常利益率	0.0186	0.0474	0.0538	▲ 0.0058	▲ 0.0438	▲ 0.0186	0.0056	0.0514	▲ 0.0453

(注) 借入金残高に占める借入先金融機関別比率と財務状態を示す諸指標とのクロスセクション回帰。



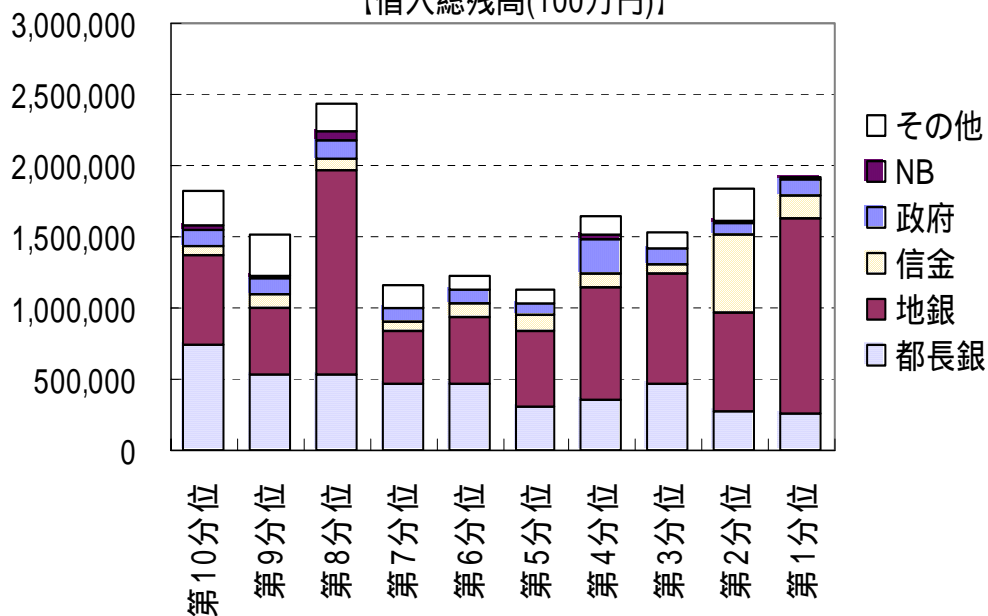
(2) 評点による10分類の借入先 (実額・左)

- ・借入れ先：財務悪化につれて
「都長銀」減少、「信金・信組」上昇、
「NB」は分散、「政府系」は第3・4分位多い
- ・第5～7分位の「全国銀行」貸出落ち込み

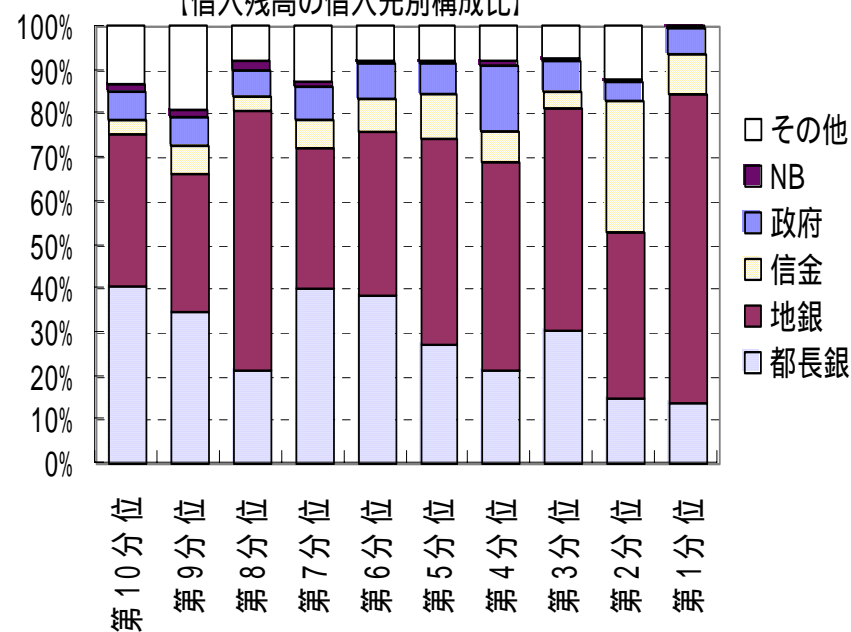
	平均	分布 (%)
第10分位	68.5	66～82
第9分位	64.4	62～66
第8分位	61.1	60～62
第7分位	58.9	58～60
第6分位	56.7	56～58
第5分位	54.8	54～56
第4分位	53.2	52～54
第3分位	51.3	50～52
第2分位	49.4	48～50
第1分位	44.4	0～48

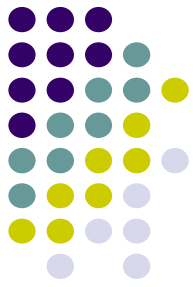
図表6 評点による10分類の借入先

【借入総残高(100万円)】



【借入残高の借入先別構成比】

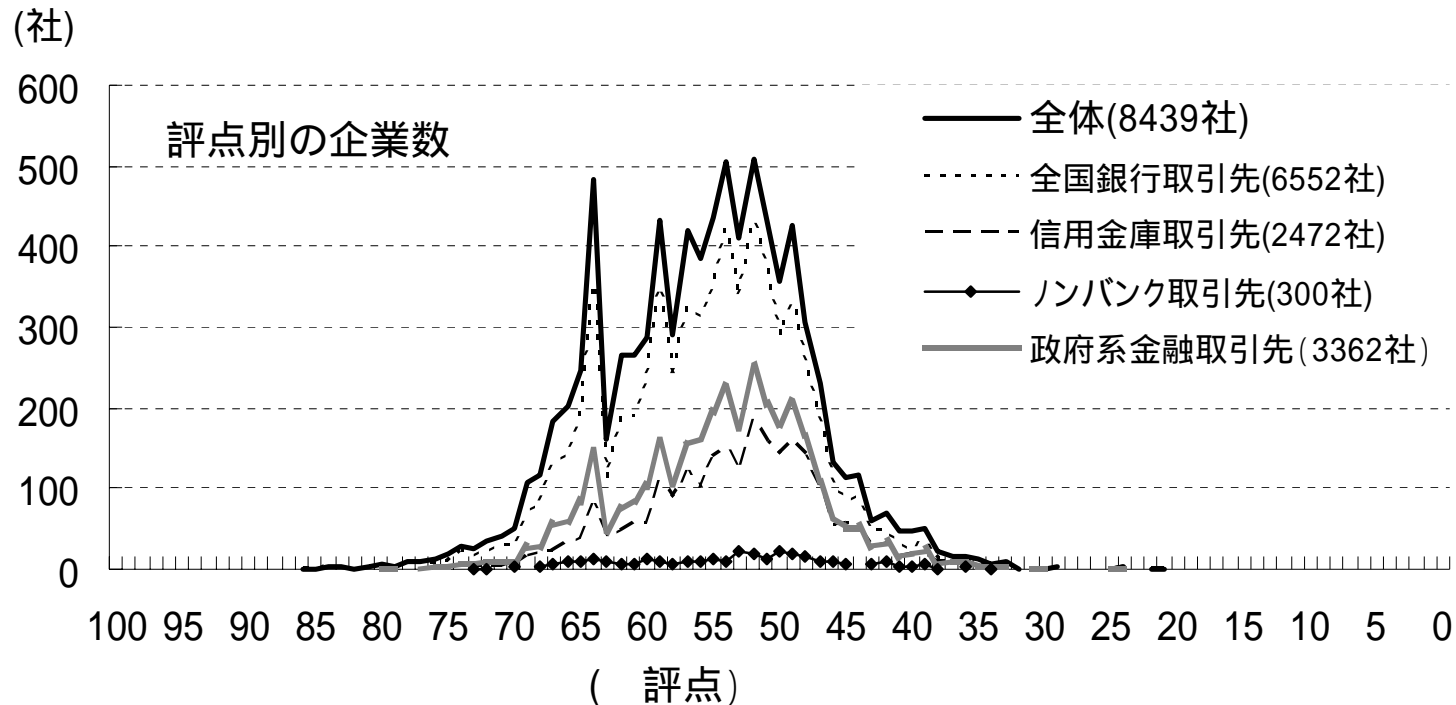


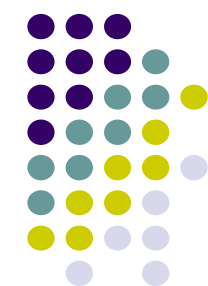


(参考1) 取引金融機関別の企業評点による企業数分布

- ・取引金融機関による明確な差は無い
(いずれの金融機関も主に評点75~40をターゲット)
- ・強いて言えば、全国銀行が上位、
評点低下につれて政府系と信金・信組が増加、NBは分散

図表8 取引金融機関別の企業評点による企業数分布



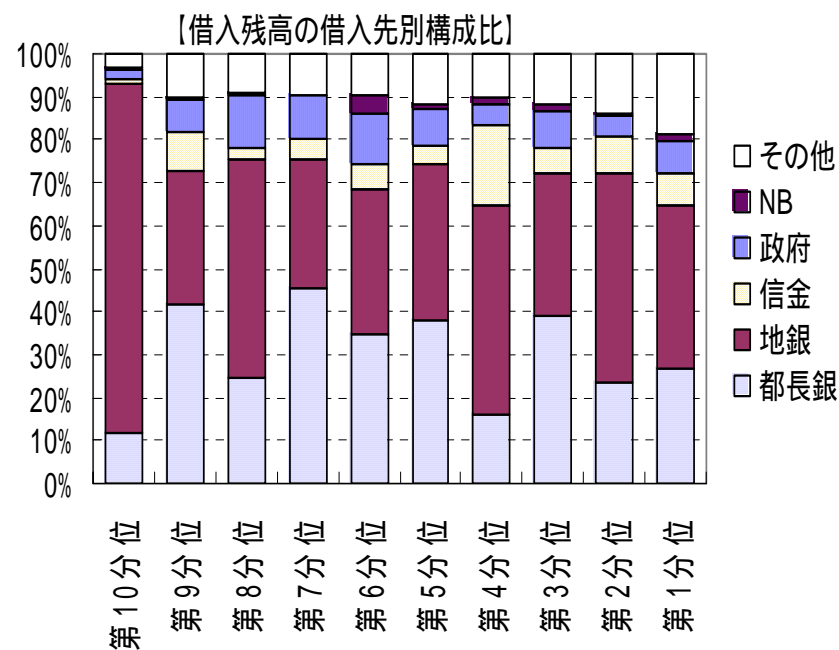
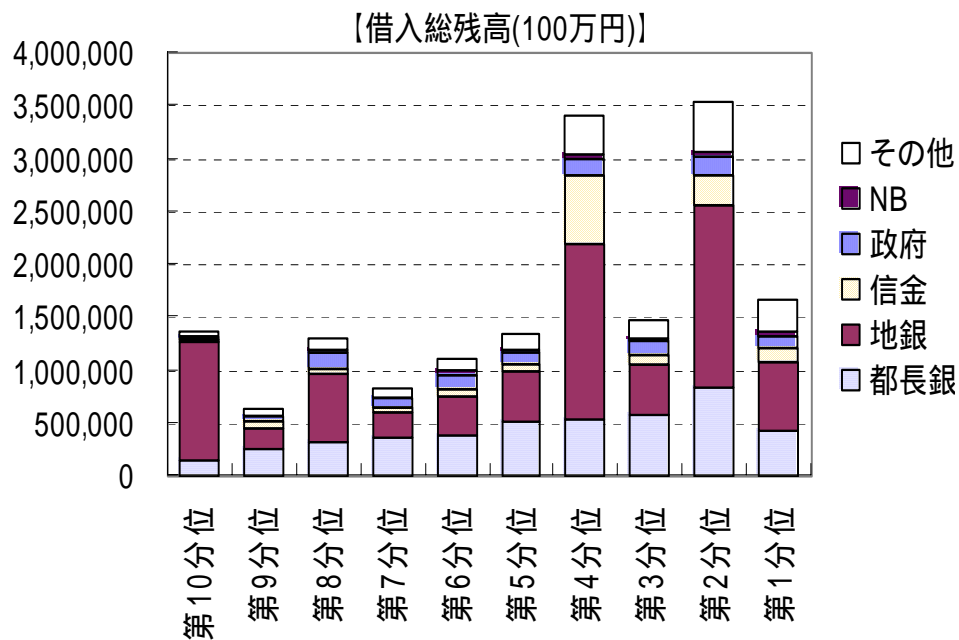


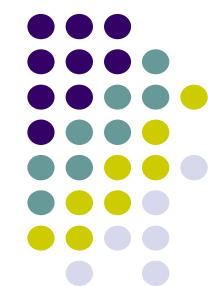
(3) 自己資本比率による10分類の借入先 (比率・右)

- ・「全国銀行」は比率悪化に伴い減少、
- ・「信金・信組」は中リスク(第4~2分位)比率大。

	平均	分布
第10分位	65.8	55 ~ 100
第9分位	48.1	42 ~ 55
第8分位	37.7	34 ~ 42
第7分位	29.8	27 ~ 34
第6分位	23.8	21 ~ 27
第5分位	18.9	16 ~ 21
第4分位	14.2	12 ~ 16
第3分位	9.8	8 ~ 12
第2分位	5.4	3 ~ 8
第1分位	2.5	61 ~ 3

図表9 自己資本比率による10分類の借入先



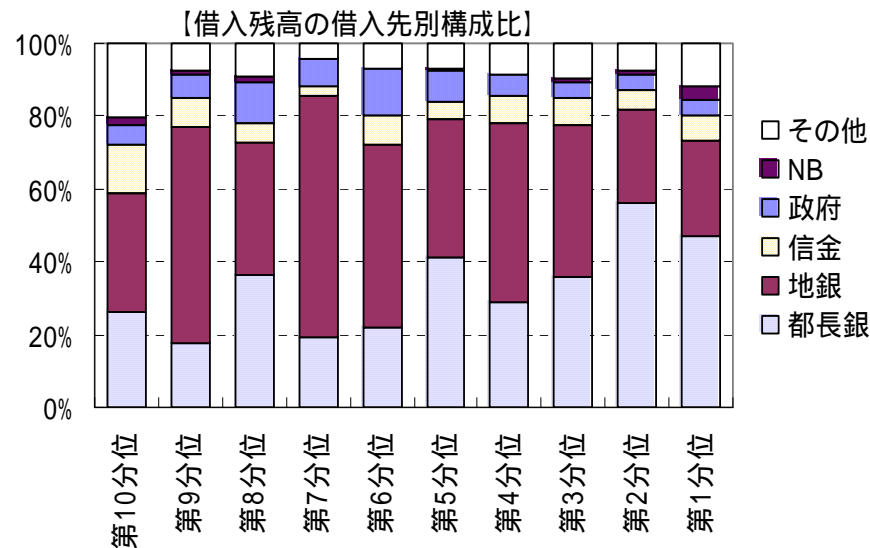
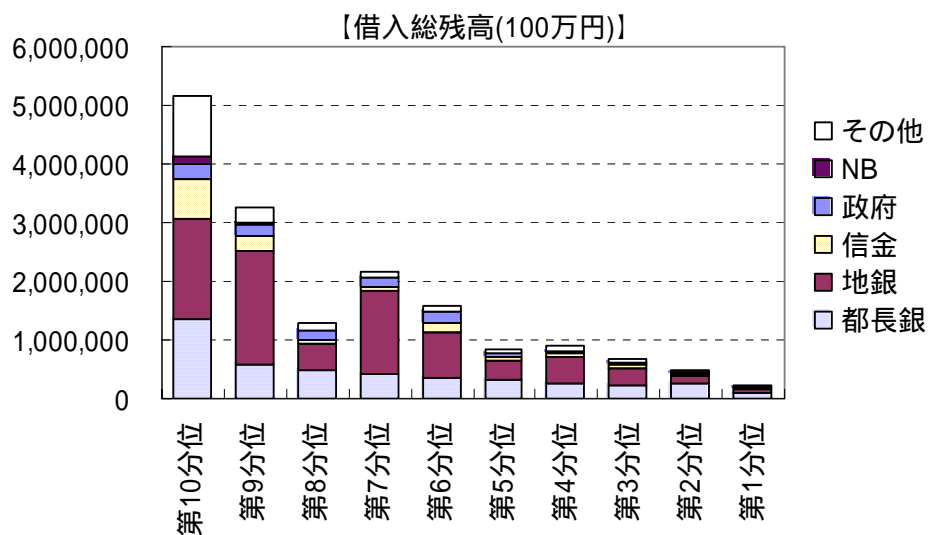


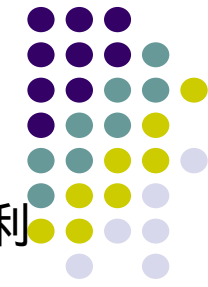
< 参考 >

負債比率による10分類の借入先（比率・右）
取引金融機関との関係、不明確

	(%)
平均	
第10分位	214.2
第9分位	84.0
第8分位	59.9
第7分位	46.0
第6分位	36.5
第5分位	28.7
第4分位	21.6
第3分位	15.6
第2分位	9.8
第1分位	3.4

図表10 有利子負債 / 売上高比率による10分類の借入先





評点レベルのインプリケーション

- 評点「第2分位以下」で財務力急低下
(金利は大きな変化無し)

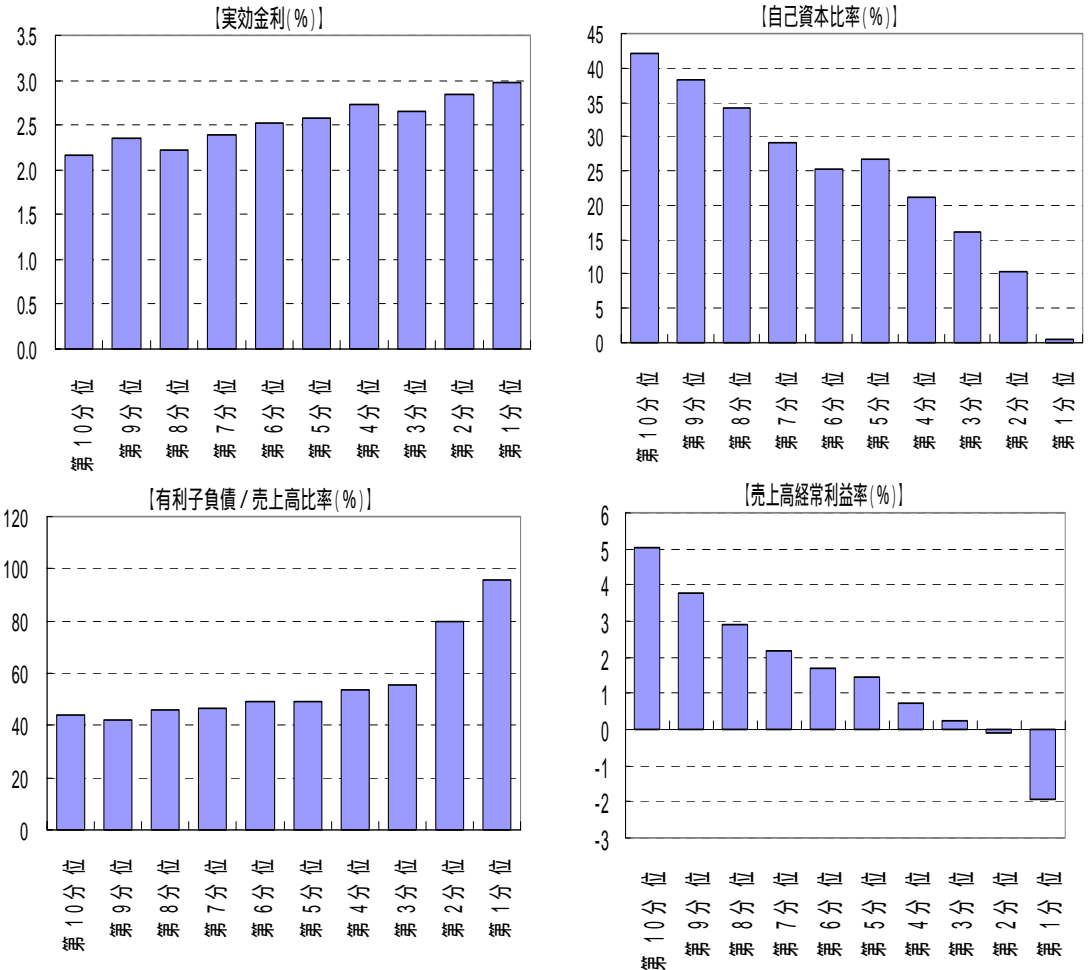
第1分位；自己資本比率ゼロ、経常赤字
 第2分位；自己資本比率10%、経常赤字
 有利子負債跳ね上がる

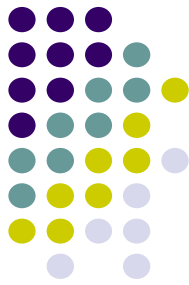
- 評点「3 ~ 10分位」は金融機関が融資可能？
 第3分位「50 ~ 52(平均51.3)」が下限
 (自己資本比率15%以上、
 売上高経常利益率0.25%、
 負債比率55%以下に相当)

「評点」3 ~ 7分位が銀行等の
 貸出拡大可能なマーケット??

- 金利：評点と整合的だが差は最大1%弱

図表11 評点10分類の財務データ、金利





【本節のまとめ】

財務状況による取引金融機関の変化は、不明確ながら
「全国銀行」と「信金・信組」の間に セグメンテーションあり

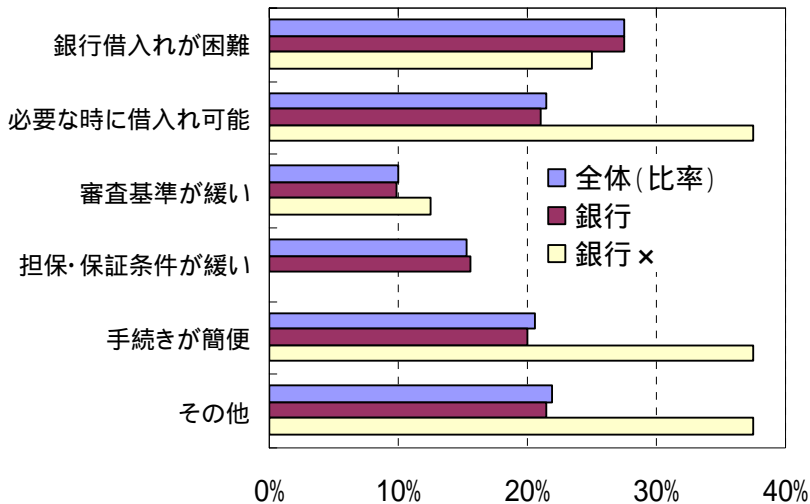
全国銀行は「評点」第5～7分位の貸出が落ち込み

「ノンバンク」は信用力の劣る先が多いが、優良先とも取引
ミドルリスク市場専属ではない。(ノンバンク利用の理由、図表7)

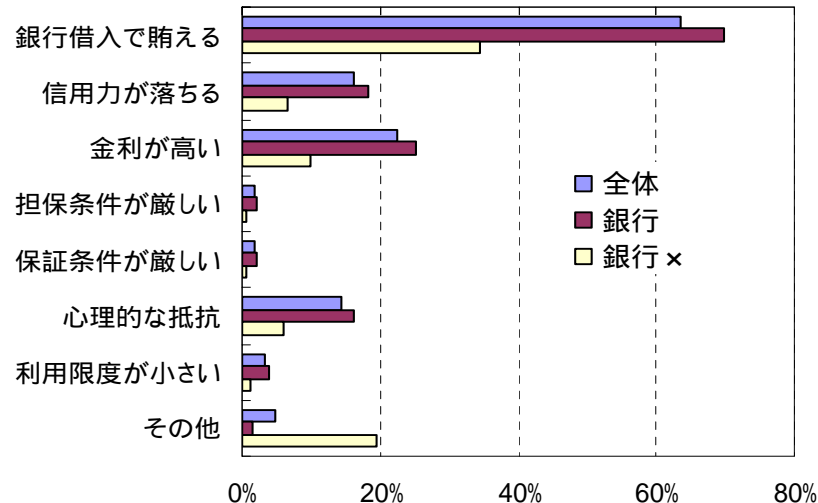
信金・信組、政府系金融機関は、中程度のリスクの市場
(評点50～60、第3～7分位)におけるプレゼンス大

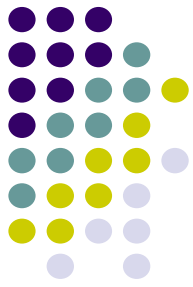
図表7 ノンバンク利用・不利用の理由

〔ノンバンクを利用する理由〕



〔ノンバンクを利用しない理由〕





5. 対象マーケット拡大等による貸出市場への影響（前節データによる試算）

「NBのみ」は少ない 銀行の貸出増はNB・政府系からのシフト等に期待 その可能性は？

（1）銀行貸出の拡大効果【試算方法】

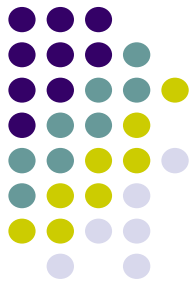
- ・ 「評点」の第3分位以上は「銀行等」が融資可能な領域と仮定
以下のシナリオにより銀行等からの借入額が拡大した場合の影響を試算。
（全国銀行、信金信組の貸出が均等に増加すると仮定）

シナリオA：「銀行等」が第3分位以上のNB取引を代替

シナリオB：「銀行等」が第3分位以上の政府系金融機関取引を代替

シナリオC：第4～7分位の借入額が嵩上げ 「銀行等」貸出増加

- ・ 上記の各ケースにおける変化を試算、
銀行等（預金取扱金融機関）の中小企業向け貸出、総貸出残高の増加額
（全国銀行の中小企業向け貸出、総貸出残高の増加額）
中小企業の借入れ、負債比率の上昇度合い、利益減少額



【参考】試算方法の詳細

<シナリオA>

3分位以上でNB貸出のある企業のうち、借入金利が全国銀行のみと取引する同分位の企業の借入れ金利を上回る部分を、「銀行等」の貸出残高に加算。
(金利の高いNB取引を代替)

<シナリオB>

3分位以上の政府系金融機関取引企業のうち、借入金利が全国銀行のみと取引する同分位の企業の借入れ金利を上回る部分を、「銀行等」の貸出残高に加算。(金利の高い公的金融を代替)

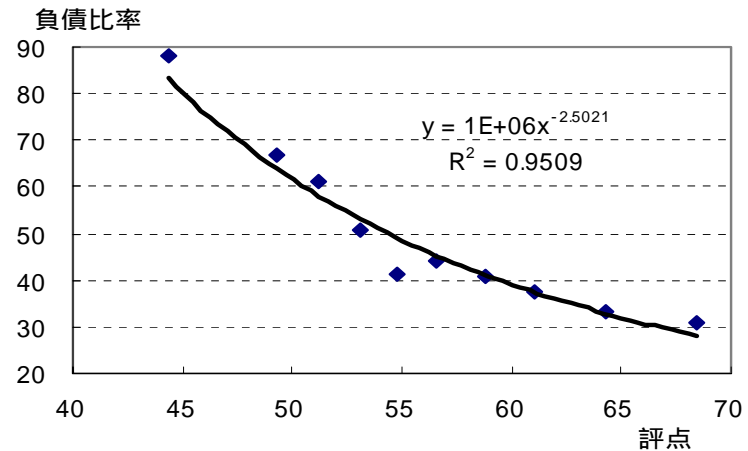
<シナリオC>

評点4分位～7分位は借入れ過小とみなし、同カテゴリーの各企業の借入額が推計値(右記図表)を下回る場合、その差を「銀行等」の借入れに加算。
(資金需要が満たされない部分の嵩上げ)

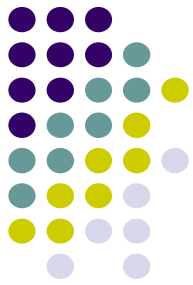
図表12 評点10分類の借入れ金利 (%、点)

	借入れ全体	全国銀行のみの取引先	評点
第10分位	1.509	2.072	68.43
第9分位	1.456	2.158	64.33
第8分位	1.486	2.227	61.04
第7分位	1.903	2.275	58.78
第6分位	1.795	2.321	56.59
第5分位	1.988	2.359	54.77
第4分位	2.024	2.393	53.12
第3分位	1.866	2.434	51.19
第2分位	2.215	2.473	49.35
第1分位	2.236	2.578	44.34

【評点と負債比率】



(注) 負債比率 = 有利子負債残高 / 売上高



(2) 【試算結果】 銀行貸出残高への影響

- 銀行等のNB市場取り込みの効果は限定的（融資残高+0.4%）・・・シナリオA
政府系金融機関市場の取り込みの効果は+2.9% ……シナリオB
中間層の貸出嵩上げ効果は+5.2% ……シナリオC
- 上記合計にて増加率は8.5% マクロの融資残高は225兆円 244兆円

図表13 「銀行等」の貸出残高(試算)

	実績	シナリオA	シナリオB	シナリオC	A+B+C
貸出残高	133,435	133,981	137,248	140,359	144,717
<実績からの増加率、%>					
全体	0.0	0.4	2.9	5.2	8.5
第10分位	0.0	0.4	3.6	0.0	3.9
第9分位	0.0	1.1	3.0	0.0	4.0
第8分位	0.0	0.2	2.3	0.0	2.5
第7分位	0.0	0.9	4.0	8.7	13.5
第6分位	0.0	0.7	4.8	11.9	17.4
第5分位	0.0	0.3	3.1	33.3	36.8
第4分位	0.0	1.1	6.4	13.9	21.4
第3分位	0.0	0.2	4.2	0.0	4.4
第2分位	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
第1分位	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

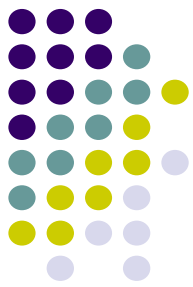
図表14 貸出増加効果(試算結果総括表)

(億円、%)

	実績	シナリオA	シナリオB	シナリオC	A+B+C	増加額
銀行等	2,254,293	2,263,506	2,318,704	2,371,268	2,444,891	190,598
	0.0	0.4	2.9	5.2	8.5	
全国銀行	1,848,510	1,856,064	1,901,326	1,944,429	2,004,800	156,290
	0.0	0.4	2.9	5.2	8.5	
信金・信組	405,783	407,441	417,377	426,839	440,092	34,309
	0.0	0.4	2.9	5.2	8.5	

(注) 銀行等 = 預金取扱金融機関

中小企業向け貸出残高。実績は、日本銀行「貸出先別貸出残高」による。



【試算結果】 中小企業の負債増加効果

- ・シナリオCにより負債比率は2.2%ポイント上昇（41.8% → 44%）
経常利益は1.9%減少。（とくに第5分位が悪化）
- ・しかし概してその影響度は大きくない。

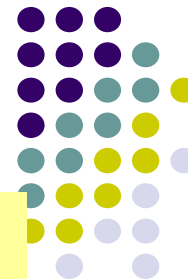
図表15 貸出増による中小企業（銀行等取引企業）の財務状況変化

(億円、%)

	有利子負債残高	増加率	負債比率(%)	上昇幅	利払い費	増加率	経常利益	増加率
全体	122,602	5.2	41.8	2.2	2,183	5.2	6,094	1.9
第10分位	21,064	0.0	30.7	0.0	318	0.0	2,625	0.0
第9分位	14,970	0.0	33.0	0.0	218	0.0	1,199	0.0
第8分位	14,928	0.0	37.3	0.0	222	0.0	907	0.0
第7分位	13,341	8.7	40.8	3.6	254	8.7	597	3.7
第6分位	11,363	11.9	44.3	5.3	204	11.9	384	6.3
第5分位	8,317	33.3	41.1	13.7	165	33.3	191	28.9
第4分位	9,932	13.9	50.9	7.1	201	13.9	198	14.1
第3分位	10,386	0.0	61.1	0.0	194	0.0	38	0.0
第2分位	9,948	0.0	66.7	0.0	220	0.0	43	0.0
第1分位	8,352	0.0	88.1	0.0	187	0.0	-88	0.0

(注)1. 負債比率 = 有利子負債残高 / 売上高

2. 増加率、上昇幅は、銀行等取引企業の実績に対する変化(率)。



(3) 貸出金利引き上げの銀行収益・企業収益への影響

- 銀行がNB取引や政府系金融機関を取り込み、第4～7分位への貸出増を実現するには貸出金利の適正化（上昇）が不可欠。
（適正化がなされないと貸出自体が実行されない。）
（銀行の貸出金利が過小との認識；日銀〔2004〕、図表16；金利は3.5%未満）
- その際、銀行の収益（預貸金利鞘）はどの程度改善するか。

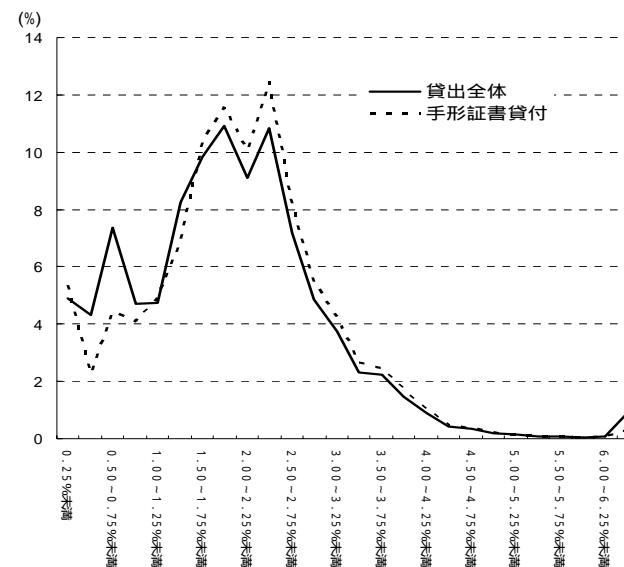
【試算方法】

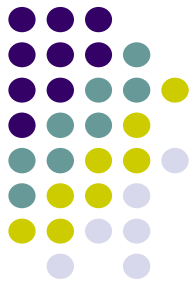
- 評点ごとに、「全国銀行の貸出金利」が「NB取引あり」と同水準に上昇と仮定。
（NBの貸出金利はリスク対応度が高い、図表17）

各評点の全国銀行の貸出金利が「NB取引有り」の推計値に上昇すると仮定。

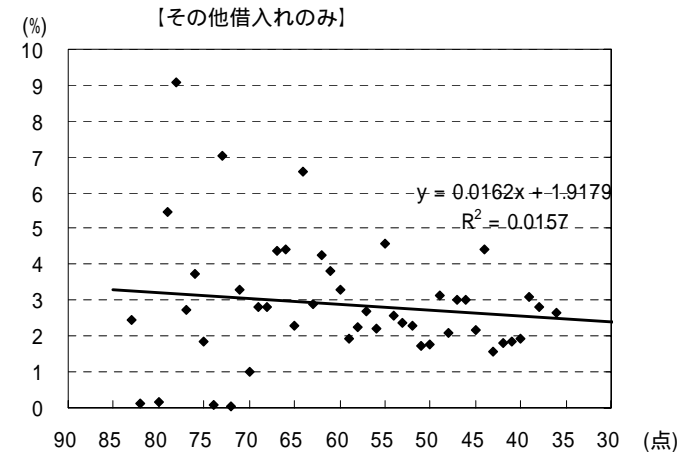
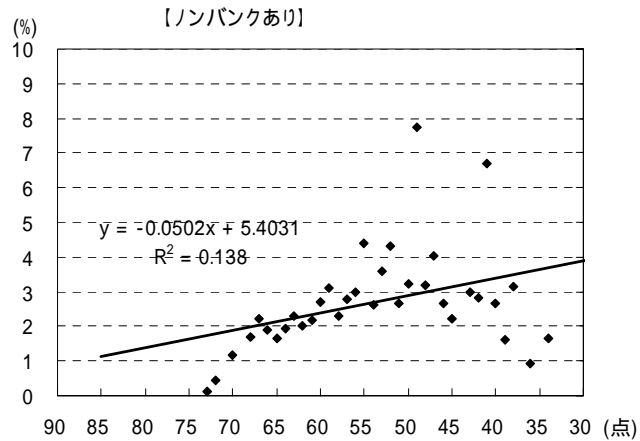
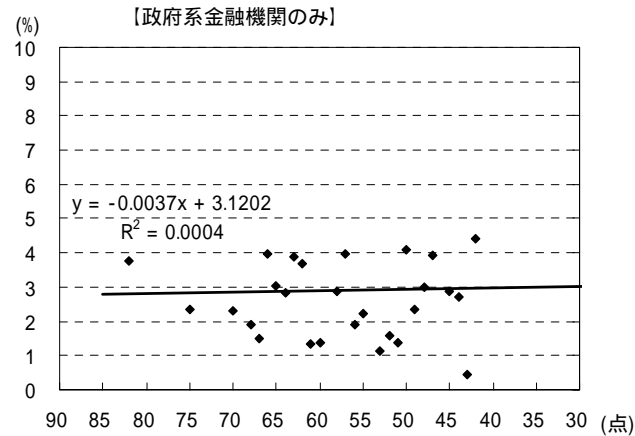
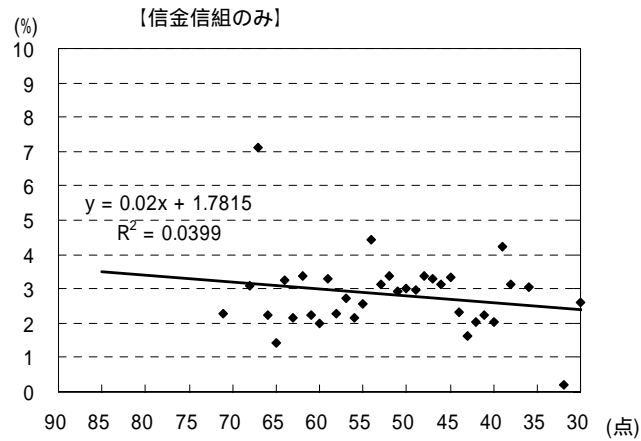
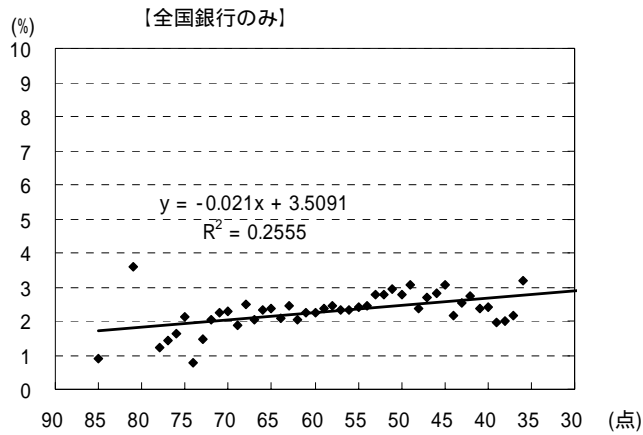
中小企業の支払金利、全国銀行の金利収入・利鞘、中小企業の経常利益悪化額の試算

図表16 銀行貸出金利の分布(2003年)





参考： 図表17 取引金融機関別のクレジット・イールドカーブ(評点と金利)



(注)

1. 横軸は評点、縦軸は実効金利。
2. サンプル数は、全国銀行のみ；1713社、信金・信組のみ；165社、政府系金融機関のみ；299社、ノンバンクあり；603社、その他借入れのみ；603社
3. 図中の直線は近似曲線。
4. 各評点の借入れ金利の平均を使用。



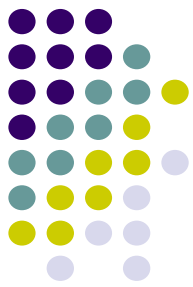
【試算結果】金利上昇による銀行収益への影響

図表18 貸出金利引き上げによる全国銀行(03年度)の収益・利鞘改善効果
(億円、%)

- TSRデータの全国銀行取引企業
受取利息額7.6%増、
金利0.16%上昇
- 全国銀行の利鞘；0.1%拡大
資金運用益4.9%拡大
業務純益8%増加
- 企業(借り手)の経常利益は 1.9%
(貸出増効果(図表15)と同水準)

	実績	利上げ後	増加額	増加率
< 全国銀行協会統計: 単体ベース >				
総貸出	4,225,062	4,225,062	-	-
(うち中小企業向け貸出)	2,726,695	2,726,695	-	-
業務純益	54,718	59,113	4,395	8.0
経常収益	103,412	107,807	4,395	4.2
うち資金運用益	90,052	94,447	4,395	4.9
貸出利回り(%) a	1.90	2.00	0.10	
(実効貸出金利、%)	2.13	2.24	0.10	
預金債券等原価(%) b	1.19	1.19	0.00	
預貸金利鞘(%) a-b	0.71	0.81	0.10	
総資金利鞘(%)	0.39	0.49	0.10	
< 日本銀行・貸出先別貸出統計 >				
国内銀行・法人向け貸出	2,864,299	2,864,299	-	-
うち中小企業向け貸出	1,848,510	1,848,510	-	-
< TSRデータより全国銀行取引企業を抽出 >				
中小企業向け貸出残高	31,406	31,406	-	-
受取り利息額	658	707	50	7.6
実効貸出金利(%)	2.09	2.25	0.16	-
企業(借り手)の経常利益	2,625	2,576	-50	-1.9

(注) 実効貸出金利 = 企業支払利息 / 貸出残高。



(4) 銀行貸出拡大・金利上昇の総合効果 (総括)

< 全国銀行の新規市場獲得による貸出増加効果と金利引き上げの効果を総合すると、 >

- ・ TSRデータの全国銀行取引企業
受取利息額16.7%増、
金利0.16%上昇

- ・ 全国銀行の利鞘；0.1%拡大
資金運用益10.8%拡大
業務純益17.7%増加

- ・ 企業(借り手)の経常利益は 4.2%

好況時には吸収可能？
中小企業の資金調達力拡大の
プラス効果によりある程度相殺

図表19 貸出増と貸出金利引き上げによる全国銀行の収益・利鞘改善効果
(億円、%)

	実績	貸出増・利上後	増加額	増加率
< 全国銀行協会統計: 単体ベース >				
総貸出	4,225,062	4,456,831	231,769	5.5
(うち中小企業向け貸出)	2,726,695	2,958,464	231,769	8.5
業務純益	54,718	64,426	9,708	17.7
経常収益	103,412	113,120	9,708	9.4
うち資金運用益	90,052	99,760	9,708	10.8
貸出利回り(%) a	1.90	2.00	0.10	
(実効貸出金利、%)	2.13	2.24	0.10	
預金債券等原価(%) b	1.19	1.19	0.00	
預貸金利鞘(%) a-b	0.71	0.81	0.10	
総資金利鞘(%)	0.39	0.49	0.10	
< 日本銀行・貸出先別貸出統計 >				
国内銀行・法人向け貸出	2,864,299	3,021,422	157,123	5.5
うち中小企業向け貸出	1,848,510	2,005,633	157,123	8.5
< TSRデータより全国銀行取引企業を抽出 >				
全銀中小企業向け貸出残高	31,406	34,075	2,669	8.5
受取り(支払)利息額	658	767	110	16.7
実効貸出金利(%)	2.09	2.25	0.16	-
企業(借り手)の経常利益	2,625	2,516	-110	-4.2

(注) 実効貸出金利 = 企業支払利息 / 貸出残高。

6. 総括（分析結果のインプリケーション）

銀行貸出における明示的なミドルリスク市場は小さい(企業数で0.5%程度)・第3節
財務状況による取引には、「全国銀行」と「信金・信組」の間に棲み分けあり・第4節
全国銀行は「評点」第7分位から貸出減少……第4節
NBは付加的取引(銀行補完・迅速性目的)。取引先は財務状況が劣る……第3・4節
信金・信組、政府系金融機関は、中程度のリスクの市場(評点50-60)でのプレゼンス大
銀行の貸出増はNB、政府系金融機関からのシフト等に期待

銀行等の「NB市場」取り込み効果(融資残高増加率)は0.4%(限定的)、
「政府系金融機関」取り込みの効果は+2.9%、中間層の貸出嵩上げ効果は+5.2%
上記合計にて、融資残高は225兆円 244兆円(増加率+8.5%)……第5節

貸出増を実現する為の貸出金利の適正化(上昇)効果

全国銀行の利鞘;0.1%拡大 資金運用益4.9%拡大 業務純益8%増加

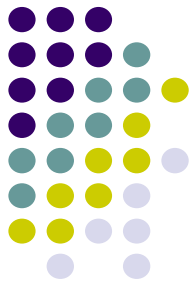
+ の総合効果

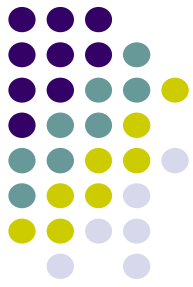
全国銀行の利鞘;0.1%拡大 資金運用益10.8%拡大 業務純益17.7%増加

企業(借り手)の経常利益は 4.2% 好況時には吸収可能?

示唆:民間銀行の貸出金利適正化 大手銀行と地域銀行の棲み分け

ノンバンクは金融付随業務に特化、政府系金融機関の融資量縮小が可能に





課題・問題点

ノンバンク、政府系金融機関取引の分析

何故、銀行等ではなくノンバンク・政府系機関から借り入れるか
中間層（評点4-7分位）の借入れが少ない原因の分析

TSRデータの性格（中小企業全体に比べて財務力が上方に偏在？）

典型的ミドルリスク市場はもう少し大きい？

参考文献

- 小野有人・長谷川克之・澤田真理子(2003),「わが国シンジケート・ローン市場の現状と発展に向けた課題」,
『調査季報(国民生活金融公庫)』,第66号.
- 全国貸金業協会連合会,『貸金業白書』各年版.
- 竹内英二(2004),「ミドルリスク市場とは本当に成り立つものなのか?」,『近代セールス(近代セールス社)』,2004年7月1日号.
- 中小企業庁(2002),『中小企業白書(2002年版)』,ぎょうせい.
- 中小企業庁(2003a),『中小企業白書(2003年版)』,ぎょうせい.
- 中小企業庁(2003b),『中小企業金融の現状』,中小企業庁(中小企業政策審議会資料).
- 日本銀行(2003),「貸出の経済価値の把握とその意義」,『日本銀行調査月報(日本銀行)』,5月号.
- 日本銀行(2004),「2003年度決算からみた銀行経営の動向」,『日本銀行調査季報(日本銀行)』,2004年秋.
- 原田淳(2002),「金利設定の見直しを進めミドルリスクの貸出市場発達を」,『週刊東洋経済(東洋経済新報社)』,2002年4月20日.
- 益田安良(2003),「ゼロ金利政策下でのマネーフロー拡大の可能性」,『経済論集(東洋大学経済研究会)』,第29巻1号.
- 益田安良(2004),「中小企業向け貸出における銀行の金利設定行動」,『経済論集(東洋大学経済研究会)』,第30巻1号.
- 益田安良・小野有人(2005),「クレジット・スコアリングの現状と定着に向けた課題 / 邦銀アンケート調査と米国での経験を踏まえて」,
『みずほ総研論集(みずほ総合研究所)』,2005年4月.
- 藪下史郎・武士俣友生編(2002),『中小企業金融入門』,東洋経済新報社.